

U-22 プログラミング・コンテスト2017

【U-22プロコン_Vol.055】U-22プログラミング・コンテスト2017レポート公開



第 055号

U-22プログラミング・コンテスト
公式Webサイト>>> <http://www.u22procon.com/>

発行：U-22プログラミング・コンテスト運営事務局

1 U-22プログラミング・コンテスト2017 最終審査会レポート公開

10月1日（日）秋葉原コンベンションホールで行われた最終審査会のレポートを公開いたしました。

当日のプレゼンテーションの様子や表彰式の写真などが掲載されていますので是非ご覧ください。

▼最終審査会レポート

<http://www.u22procon.com/report/final.html>

2 U-22プログラミング・コンテスト2017 作品概要・評価ポイントを公開

U-22プログラミング・コンテスト2017における受賞作品の概要と評価ポイントを公開いたしました。

そのうち一部をご紹介します。

それぞれがどんな作品であったか、審査委員はどのような点を見ているのかなど、応募するときの参考にしてください。

受賞種類：経済産業大臣賞（総合）

作品名：Draw Near

制作者名：OMNISCIENCE

作品概要：

運送会社の業務員として働いていた主人公。ところが突如巨大隕石群が接近し主人公の船に衝突、宇宙空間を漂流してしまう。主人公は生き残るため、他の漂流船にドッキングして中を探索、中に潜む敵と戦い資源を集める。そして自分の宇宙船を自由に建設・拡張し、自給自足を可能にしていく。さらに、隕石によって墜落した仲間を救出しに向かうミッションも用意されている。

評価ポイント：

- ・フルスペックの高い完成度。モデリング、テクスチャーも美しく、素晴らしいの一言
- ・こだわり、広いフィールド、完成度、クオリティと大変高く、驚いた。
- ・高校生でここまでの大作を作り上げた点や、今回はじめての経験で短時間でキャッチアップした事も素晴らしい。

U³⁸22 プログラミング・コンテスト2017

受賞種類：経済産業大臣賞（プロダクト）

作品名：Circuitor

制作者名：固有スキルせんたく板

作品概要：

電子回路のシミュレートを行うアプリケーション。電源や抵抗、LED、論理ICやワンチップマイコンを用いて電子回路を組み、実行時の電流の強さ・方向を簡単なアニメーションで確認できる。電流計や電圧計も使用でき、グラフで数値を確認できるため変化が解りやすい。また、ワンチップマイコンを回路に使った場合、専用のエディタでプログラムを書き込むことも可能にしている。

評価ポイント：

- ・コンセプトが明確で素晴らしい。開発に社会性がある点も好感度が高い。シンプルで美しい点も高く評価する。
- ・ニーズを基に作っているのがよい。非常に有用なソフトウェアで今後開発を続けてほしい。

受賞種類：経済産業大臣賞（テクノロジー）

作品名：scopion

制作者名：小川 広水

作品概要：

シンプルな文法の高機能なプログラミング言語。プログラムを書く際にまわりつく様々な煩雑さを取り除いたすらすらかける言語を目的に制作され、関数型言語の特徴を持ちながらオブジェクト指向プログラミングに近い機能を実現している。

評価ポイント：

- ・モダンな開発ツール活用もすばらしいが、プログラミング能力も高い。言語もいろいろと調査していて、自分の理想の言語を作っているというモチベーションもすばらしい。オンラインコンパイラの仕組みも良い。
- ・作品そのものだけでなく、その開発手法がとても良い。
- ・言語仕様のこだわりとLLVMでの実装、最先端の手法をさらりと取り入れていて素晴らしい。

受賞種類：経済産業大臣賞（アイデア）

作品名：narratica

制作者名：菅野 楓

作品概要：

自然言語処理によってストーリーを解析し、面白い作品作りを支援するソフトウェア。現在は映画やドラマの脚本を解析対象とし、入力された脚本を解析、登場人物ごとの感情の起伏をグラフ化して、物語が3幕8シークエンス構成になっているかを診断する。作者は、これまで関係者の感性や自らの経験値に頼っていた改稿の仕事を、客観的なデータに基づいて行うことを可能にしている。

作品概要：

- ・発想と実行力が素晴らしい。壮大なアイデアに対する無謀なチャレンジと感じる点もあるが、続きを見たい。
- ・直送の独創性と将来性、そして何より行動力のすごさを感じた。

※当日の審査会の模様はニコ生タイムシフトでも視聴いただけます
（期間限定。事前にタイムシフト予約をした方のみ）

<http://live.nicovideo.jp/gate/lv306126677>

U-22 プログラミング・コンテスト2017

3 委員からの終了後のコメント紹介

終了後に審査委員の皆様から今年の感想をいただきました。一部をメルマガでご紹介いたします。

どのような作品が良かったか、どんな作品を求めているか、など審査で感じた点なども記載されてます。作品制作のヒントが見つかるかもしれません。

▼実行委員長 青野 慶久（サイボウズ株式会社 代表取締役社長）

予想を大きく上回る過去最多334作品の応募を誠にありがとうございました。そして、コンテストをスムーズに運営していただいた事務局や審査員のみなさま、本当にお疲れ様でした。

今年はレベルの高さに加えてジャンルも広く、ゲームあり、言語あり、シミュレータあり、AIあり、モバイルあり、IoTありと、若者の豊かなアイデアが具体的なプログラム作品となって実現されていくことに明るい未来を感じました。プログラミングの義務教育化が進む中、「自分の作りたいものを作る」というクリエイティブ精神を大事に、引き続き社会を変えるソフトウェア開発に期待しております。来年も楽しみにしています！

▼実行委員 芦原 栄登士（株式会社Cygames 取締役CTO）

Cygamesは今年初めて実行委員を務めさせていただきましたが、最終審査の16作品のうち、半数がゲーム作品であったことを嬉しく思いました。

また、ゲーム以外の作品も含めて、全体として非常にレベルが高かったと感じています。

「みなさんが考えた、『これはおもしろい！』という感性を見られることを楽しみにしています」とご挨拶しましたが、実際に審査させていただくと、若いみなさんの情熱と技術力、そして発想力に驚かされるばかりでした。

Cygamesは「最高のコンテンツを作る会社」というビジョンを掲げています。最高を目指し、世界をあと驚かせるプログラマーと、この場でお会いできることを楽しみにしています。

▼審査委員長 筧 捷彦（早稲田大学 名誉教授）

今年のU-22で最終審査会に残ったのは、中学生、高校生、専門学校生、高専生、大学生の個人またはチームの作品であった。その中で経済産業大臣賞を勝ち取ったのは、大学生から1件、高校生から2件、中学生から1件であった。この高校生がいずれも普通科の生徒であったのが印象に残った。プログラミングへの興味が確実に広がっていると感じた。一方で、なまじ「小学生部門」を設けたことが災いしたのか、小学生がこれらに入らなかったのが残念といえば残念であった。来年に期待したい。

▼審査委員 石戸 奈々子（NPO法人CANVAS 理事長）

あまりのレベルの高さに感銘を受け、真摯に取り組む姿に心打たれました。課題を適切に見極める洞察力、独創性溢れる発想力、豊かなデザイン力と高度な技術力、そして共感を得るプレゼン力。

すべてにおいて群を抜いていました。

もう1点驚いたことが、多くの受賞者が「独学」だと回答されていたことです。いまだかつて誰も経験をしたことがない程目まぐるしく変化する時代を生き抜くのに必要な力は「学び続ける力」です。

その力をすでに手に入れたみなさんがこれからどのような未来社会を築いていくのか楽しみです。

U-22 プログラミング・コンテスト2017

4 文部科学省：トビタテ！留学JAPAN 日本代表プログラムのご紹介

今回はU-22プログラミング・コンテストとも連携している文部科学省の留学支援奨学金「トビタテ！留学JAPAN 日本代表プログラム」についてご紹介します。

▼トビタテ！留学JAPAN「日本代表プログラム」とは？

<http://www.tobitate.mext.go.jp/index.html>

意欲と能力ある全ての日本の若者の、海外留学を支援する国家プロジェクトを象徴するプログラムで、「給付型返済不要」の留学奨学金です。

【トビタテ！留学JAPAN「日本代表プログラム」のメリット】

1. 給付型なので返済不要
2. 自分の意向に応じて、自由な留学計画（目的・地域など）の設計が可能
3. 長期の留学も支援対象（詳しくはホームページの募集要項を確認ください）

■高校生コース：14日～3か月、平均支給金額50万程度

※地域と期間によって異なります。

■大学生コース：28日～2年間 平均支給金額150万程度

※地域と期間によって異なります。

【留学形式の例】

1. 海外学校、サマーキャンプでの学修
2. 海外企業へのインターンシップ
3. 調査・フィールドワーク
4. 実地研修
5. 研究 等

【トビタテ！留学JAPAN 「未来テクノロジー枠」新設に関する情報】

この度、文部科学省が民間企業と協働して立ち上げた留学支援奨学金「トビタテ！留学JAPAN 日本代表プログラム」に、「未来テクノロジー人材枠」が新設されることとなりました。

▼詳しくはHPにてご案内しておりますのでご覧ください。

高校生コース

<http://www.tobitate.mext.go.jp/hs/program/tech/index.html>

応募期間：2017年10月～2018年2月1日

結果発表：2018年5月結果通知

留学開始：2018年7月以降

大学生コース

<http://www.tobitate.mext.go.jp/program/tech/index.html>

応募期間：2017年12月～2018年3月(予定)

結果発表：2018年6月結果通知

留学開始：2018年8月以降

多くの学生様のチャレンジを心よりお待ちしております。

U³⁸⁺22 プログラミング・コンテスト2017

--

一般社団法人コンピュータソフトウェア協会
U-22プログラミング・コンテスト運営事務局
〒107-0052 東京都港区赤坂1-3-6 赤坂グレースビル4F
TEL : 03-6435-5991 FAX : 03-3560-8441 E-mail : u22-info@csaj.jp
公式Webサイト <http://www.u22procon.com/>
▼コンテストの最新情報はU-22メルマガで配信中！
<https://www.csaj.jp/u22mailmaga/index.php>